

平成 27 年 10 月 2 日

**公益社団法人 S L 災害ボランティアネットワーク**  
**運営委員会 議事録 ( 1 0 月期 )**

【出席者】敬称略・順不同

濱田、森、石丸、葉木、坂内、木村、澤野、沖津

1 . 濱田委員長挨拶

静岡で 9 月に地震があったのが気になった。地震が浜岡原発の沖合で起きた事を考えると、つくづく原発を停止させたのはよかったことと思う。いづれにしても生き残る活動をしていただきたい。防災科研理事長に就任した林春男氏にメールで連絡をした。

2 . 推進委員会 澤野委員長、委員会報告

別紙資料「2015 年 9 月報告と今後の予定」のとおり。

2-1 常総市、豪雨災害の件について、「災害伝承・故事来歴」から学ぶ。

1986 年地元小貝川で水害があって、当時は小貝川を警戒していた。1683 年には日光・南会津地震があって、その時出来た鬼怒川上流の天然ダムが、1723 年に豪雨で決壊し 1200 名死者が出るという災害がおきている事を考えると鬼怒川にも危険はあった。

前の災害にとらわれた結果の、ある意味で地元の人思い込みから起きた悲劇ともいえる。

2-2 大きな水害の時、専従者（プロ）とボランティア活動の動きの違いについて、それぞれの役割についての整理と流れについての説明があった。特に被災地での活動については確認する必要がある。

2-3 10/14 の「SECOM の学習会」に 現時点で参加者が少ないので、参加を要請。

天寺理事からも強調するよという事で した。首都直下地震の時には防犯が大事なことになるので、ぜひ都合の付く方は参加をして欲しい。

2-4 広島の土砂災害から 1 年、被災者生活再建事業について。局所災害時の義捐金は重要。広島の義捐金が 63 億円集まって、内 40 億円は配分済。国の制度以外の義捐金は地元にとってはありがたいところ。配分の公平性については難しいところだが、もう少し早く認定をして配分をしてほしいものだ。

3 . 公社）S L 災害ボランティアネットワーク報告（濱田委員長）

別紙「運営委員会 議事」参照

常総市のボランティアについて、S L も数人現地に入って活動。

特に募金活動について詳細報告があった。横浜の秦好子さんが実施している「さんま焼きプロジェクト」などの活動をあげ、今後募金については理事会で別途まとめていく。

3-1 森理事から 神奈川災害ボランティアネットワークから 10/4 常総市への「ボラ・バス」への参加の要請があった。今回参加費は無料。既に数名の申し込みがあった。常総市ではまだまだボランティアが足りていない状況。

4、各地の活動報告

{ 千葉中央ネット }( 坂内 ) 添付資料のとおり ( HP には掲載していません )

【要約】 10/14 県ネットで NHK 千葉放送局施設見学会を実施 45 名参加予定

10/11 住宅会社の「関東東北豪雨」共同募金事業について、要請があって進めている。  
この件で委員会に意見を求め、濱田代表から募金のことについて、自身の経験などからアドバイスがあった。10/3 先方担当者と詳細を打ち合わせる予定。その後 社団事務局と連絡し合っ  
て進行する予定。

{市浦ネット}(木村) 9/27 2 回目の会合 5 名参加で開催。今後の活動などについて話し合った。  
以降は情報交換だけでなく目的を明確にして進めたい。次回は 11 月予定。

{横浜ネット}(沖津) 9/6 神奈川県庁前日本大通りで開催された「Bo-sai2015」(横浜青年会議所  
主催)のブーステントに出展し、「ガラス飛散防止フィルム貼り体験」などを行った。S L 横  
浜メンバー15 名参加、本部の参加などを含め、協力を得て進行。天候にも恵まれて 400 名以  
上の市民が立ち寄って体験参加をし、ビデオなどを見ていった。この件は翌日の神奈川新聞に  
も掲載された。

これに関して濱田委員長から、くれぐれも安全を確保してほしいと意見。

{座間ネット}(濱田) 9/26 市民減災・体験型訓練実施。115 名参加してバケツリレーなど水の運  
搬。職員も 19 名参加した。

清川村で 災害ネットワーク・ボランティアセンター、住民の 1 パーセントに当たる 30 名参  
加。 9/15 シェイクアウト新聞報道も入る。 10/6 座間シェイクアウトキックオフ講演、な  
どの話。

9/19 石巻・女川で「鯛やきボランティア」をしてきた。市内の状況について、旧市内はそのまま、市役所などの建設は始まった。女川でさんまとホタテを仕入れ、座間でのイベントに使用、  
売り上げは女川市社協へ寄付した。

S L は、たとえ対象が数人であっても 各地のサロンに行き行って防災の話をする事を心掛ける。  
伝道師だと思って行動するくらいの気持ちが必要かも。それにしても活動のためのツールをそ  
ろえるのは重要。道具があって活動も生きてくる。

{秦野ネット}(石丸) 9/19 親子防災キャンプに呼ばれ青少年の指導として参加。災害食でスパゲ  
ティを作る。夜はロープワーク。 10/23,炊飯袋体験 11/14 体験講座を公民館で実施。 社協、  
鶴巻の防災拠点などに炊飯袋を置いてもらう。市役所は炊飯袋が使えない。仕方なしにビニール袋を使用して炊飯を実施している。

{神奈川ネット}(森) 神奈川県立高校 DIG 研修の状況と今後の予定について報告。10/8 城  
郷高校 280 名、11/18 小田原高校 10 名、他予定。予算についてアップを交渉中。社団として  
も事業として進めていきたい。

【福祉部会】(葉木) 神奈川ライトセンター見学と体験実施(3 部合同)

【情報部会】(木村) 木村 S L が常総市へ入った。9/20 現地に入って情報収集。防災科研の資料な

ど、鬼怒川の上流で降雨、常総市ではあまり降っていない。情報の流れと避難行動の遅れについて詳細を資料などで説明。

【応急部会】(森)柳島の合宿訓練について、正式に申し込みをして欲しい。

**次回運営委員会開催は 11/6 (金) です。**

(文責：沖津)

## 2015年9月の事業報告と今後の予定

(10月2日 / 災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

### 全体事項

[状況] 地震、津波、噴火、風水害と自然災害が相次ぐ

[災害] 関東・東北豪雨 視点 「災害伝承」「故事来歴」

視点 対応の基本(プロ部分とボランティア部分)

[情報] 林春男教授、防災科学技術研究所理事長就任 10/1

### 1、防災とボランティアをめぐる情勢

#### 1-1 社会全体(危機管理を中心に)

・[法律] 安保関連法可決 9/19

・[シリア] 火種、内戦で難民が欧州へ、ロシア介入 9/30。

・[行政] マイナンバー、防災活用が課題

#### 1-2 災害,大規模事故分野

[国内] ア 地震(気象庁発表で震度5強以上, M6.5以上、関東は震度4以上)

・9/12 東京湾地震 M5.3

・9/18 三陸沿岸等に津波注意報 チリ地震

イ 火山(気象庁発表の週間火山概況他)

#### 噴火他

・噴火速報(大規模) 9/14 阿蘇山噴火

・観測報(通常規模) 桜島、諏訪之瀬島

#### 噴火警戒レベル対象火山

・箱根山レベル2下げ9/11、阿蘇山レベル3上げ9/14

#### ウ 風水害

・9/9-11 関東・東北豪雨 線状降水帯 死者8名 床上7348、床下11939

・9/28 台風21号 与那国島 風速81.1m 観測史上全国4位

・10/2 爆弾低気圧

#### オ 事故等

[海外] ア 地震(USGC発表、M7以上又は報道等で犠牲者多数)

・9/17 チリ地震 M8.3 津波発生 死者12、100万人避難

#### 1-3 防災行政等の動き

ア 文部科学省組織再編、防災教育部署が初等中等局の健康教育・食育課 10/1

気象庁 エルニーニョ監視速報「続いている」 9/10

イ 自治体 東京都 防災ブック「東京防災」 各家庭・企業配布 9月より

防災視点:東京オリンピックは「復興五輪」

#### ウ 被災地状況

・避難・転居者数(復興庁発表) 19万4793人 前月比-3720人 8/10

・9/5 福島県楢葉町全域、避難指示解除

#### エ 総合防災訓練

#### 1-4 災害ボランティア等の動き

- ・関東・東北豪雨でのボランティア活動

ボランティアバス KSVN 10/4

- ・[情報] 連合会長に神津氏(JBU)内定 10/7 選出予定

#### 1-5 注目すべきメディアと書籍、イベント等

- ・TV 巨大災害 MEGA DISASTER 日本に迫る脅威

第1集 極端化する気象 ~海と大気の大変動~ 9/5

第2集 大避難 ~命をつなぐシナリオ~ 9/6

第3集 大噴火の時代 到来か (仮) 10/4

緊急報告・列島大水害 9/12

## 2、この間の主な活動と今後の予定

### 2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

#### A、災害ボランティアリーダー養成事業

##### ア 全体的な到達点

本部講座 8,860人 公認講座 1,860人\* 計 10,720人 8/25 現在

講座開催と受講生確保の困難に直面 打開に向けた方策を

##### イ 本部主催のSL養成事業

・[募集] 船橋市講座 10/2-3-4

・[募集] 立川講座 10/31 11/7-8

##### ウ 大学等受託のSL養成事業

・目白大学他

##### エ 災害ボランティアリーダー等養成事業

#### B、防災・減災啓発推進事業

##### ア 本部等主催の防災啓発推進事業

・[募集] 10/14 企業学習会 セコム見学

##### イ 本部受託の事業

##### ウ 他主催の事業への協力

#### C、公社) SL災害ボランティアネットワークの地域活動報告

地域に根ざした活動が基本

#### D、その他

ア ロータリークラブ 10/5 南三陸町志津川中学校放送設備改修

イ 社会デザイン学会 10/31-11/1 岩手県被災地訪問研修

### 2-2 総合的な防災事業

#### A、シェイクアウト事業 (防災訓練推進事業)

ア 全体的な到達点 2015年 累計約440万人 500万人以上へ

イ 特徴的な動き 新規 宮崎県、愛媛県

11月5日 津波防災の日

#### B、防災教育推進事業

##### ア 防災教育チャレンジプラン(内閣府共催)事業

・[予定]防災教育交流フォーラム 10/17-18

- ・ [予定]防災教育実務者セミナー 10/17 新規 澤野・宮崎が講師
- イ 防災教育普及事業
- ウ 学校・団体等での防災教育推進事業
  - ・ [各地]学校での防災教育支援
- C、被災者生活再建支援事業
  - ・ 関東・東北豪雨水害での要請なし。
- D、防災研究事業
  - ・ [予定]安全教育学会年次大会 東京 10/24-25  
澤野がパネラー

以 上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク  
運営委員会 議事

【理事会報告事項】

1. 被災地支援活動（個人） 事務局に連絡があったもの
  - 横浜ネット宮川 SL より 9/15～18、常総市で V 活動
  - 藤森 SL（佐倉市在住）が常総市で V 活動
  - 野田流山ネット高橋治範 SL より野田市社協企画で 9/28,29 と常総市で V 活動
2. 被災地支援活動（社団としての動き）
  - 2.1. 募金活動について

社団として、募金活動を行いたい。行うにあたり下記の点を検討したい。

- |       |                                    |                            |                  |
|-------|------------------------------------|----------------------------|------------------|
| 呼びかけ先 | A：SL 会員向け                          | B：広く一般                     | C：その他（地域でイベント実施） |
| 募金の種類 | A：義捐金                              | B：活動支援金（社団として活動はしていないが...） |                  |
| 振込み方法 | A：他の機関に振込む = 日本赤十字 支部、共同募金会        |                            |                  |
|       | B：濱田代表他 SL で被災地に手渡しに行く（相手先をどこにするか） |                            |                  |
|       | C：その他                              |                            |                  |

- 2.2. 常総市被災地支援ボランティアバス運行の件

NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク（KSVN）が 10 月 4 日に横浜市 常総市の日帰りボランティアバスを運行するにあたり、SL にも参加呼びかけを行った（災害救援ボランティア推進委員会および神奈川県推進委員会が KSVN に加盟）。

具体的には、社団 HP、社団 FB、部会案内用同報メールにて通知した。

<呼びかけ内容は下記の通り>

【活動内容】家屋清掃作業など（常総市災害ボランティアセンターと協力しての活動）

【活動場所】茨城県常総市

【活動日】2015 年 10 月 4 日（日） 日帰り

【募集人数】40 人（定員になり次第締め切り）

【参加費】無料

【参加条件】18 歳以上（未成年の場合は「未成年合意書」が必要）、ボランティア活動保険に加入していること 災害ボランティア活動が初めての方はご相談ください

【集合時間】朝 6 時 15 分集合（6 時 30 分出発）

【出発場所】横浜駅西口、天理ビル前集合

【横浜着時間】夜 9 時ごろ（道路混雑状況による）

【持ち物】

ボランティア活動保険加入カード（ SL 会員で保険加入者には「ボランティア保険加入確認証兼保険料受領書」写しを発送しています。それをご持参ください）。健康保険被保険者証、作業着（長袖長ズボン）、各自必要な着替えや日用品、活動日の昼食、飲料水。個人装備：ヘルメット（なければ帽子）、ゴーグル、マスク、ヤッケ・合羽、皮手袋かゴム手袋、長靴、など

3. 次回運営委員会

2015 年 11 月 6 日（金）13 時 30 分～